

教育委員を拝命して11年、入学式や卒業式等の学校行事への参加、また教育指導主事による学校訪問への同行、先生方の教育研究大会・集会への参加、毎月配布いただく各小中学校・義務教育学校の「学校だより」を拝見するなど、様々な機会をいただく中で教育の現場を見る目を養いながら課題やニーズに目を光らせています。もちろん、学校に常勤しているわけではないのでそのすべてを把握することは出来ないわけですが、我が子が通っている頃の保護者としての視点、PTA役員として学校に携わっていた頃の視点を加味しながら現在の教育実態をしっかりと考察できるよう心がけております。現場を知れば知るほど、各校長先生のリーダーシップのもと熱血漢の若手教員や経験豊富な中堅教員の皆様、現代特有の煩雑な事務に追われながら日々奮闘されている教頭先生らにより、誠心誠意学校運営が取り組まれてますことに心より労いと敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

現在の学校教育に求められていることは端的にいうと「自分たちで課題を見つけて行動を起こし解決する力」を養うこと。これは子どもたちだけに限ったことではなく私たち大人の課題でもあり、先進国の他民族に比べ受動的な思考が根付いている日本人特有の国民性が背景にあるように思います。よく言われる予測不能な将来社会、特にこれからは私たちが培ってきた考え方ややり方では社会課題に対処できない、そういった危惧をはらんだ日本近現代史上、三度目の大きなパラダイムシフト・転換期を迎えております。

これからの若い世代は私たちが育ち生きてきた時代とはかなり違った価値観の中で、多種多様な地域事情を背景としながら、安易に前例踏襲しない問題解決能力をもって生きていくことでしょう。将来大人になった時どのような考え方が出来るようになればいいのか？ どのような知識活用能力が養われればいいのか？ 本人含めまわりの関係する人たちと共に幸せを実感できるような生活力を身につけさせるにはどうしたらいいのか？ 将来困らぬよう充実した成長の時間としてその青少年期を過ごさせてあげられるよう本市の教育をさらに発展・充実させて行かねばならないと考えております。

「教育とは、理想を語り、理想を求めること」これが私の信条、考え方の根幹です。もちろん教育の専門家ではありませんが、独自の目線で引き続き教育委員の職務を果たしてまいりたいと考えております。微力ではありますが今後ともよろしくお願い申し上げます。